

## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月1日

上場会社名 アマノ株式会社  
 コード番号 6436 URL <http://www.amano.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津田 博之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画本部長 (氏名) 井原 邦弘  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月3日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 045-439-1591

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	80,525	15.8	5,135	51.8	5,830	47.8	4,696	34.3
2020年3月期第3四半期	95,590	3.6	10,651	24.5	11,175	21.2	7,150	35.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 4,446百万円 (28.2%) 2020年3月期第3四半期 6,191百万円 (29.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	62.90	
2020年3月期第3四半期	95.68	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	146,556	107,938	73.2	1,437.05
2020年3月期	154,276	109,478	70.5	1,454.47

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 107,239百万円 2020年3月期 108,695百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		28.00		56.00	84.00
2021年3月期		20.00			
2021年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当36円00銭 特別配当20円00銭

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	17.3	7,000	56.7	7,800	53.8	6,100	42.3	81.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.13「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	76,657,829 株	2020年3月期	76,657,829 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	2,033,319 株	2020年3月期	1,925,901 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	74,672,671 株	2020年3月期3Q	74,732,700 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)期末自己株式数には、役員報酬BIP信託及び従業員向け株式給付信託の信託財産として保有する当社株式(2021年3月期3Q 421,314株、2020年3月期314,300株)を含めております。また、各信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.6「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	14
(重要な後発事象)	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続する中、国内では経済活動の再開により景気に一部持ち直しの動きが見られたものの、国内外における感染の再拡大により各種行動制限が強化されるなど、景気の先行き不透明感が強まっているものと考えられます。

このような経営環境下において、当社グループは、2020年4月よりスタートした第8次中期経営計画において、「100年企業への3rd Stage -持続成長につながる盤石な経営基盤の確立-」を経営コンセプトに掲げ、デジタル・トランスフォーメーションの動きに対応すべく、成長ドライブへの戦略投資を推進するとともに、各部門の強みの相乗効果による断トツの競争優位性の確立に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は80,525百万円（前年同期比15.8%減）、営業利益5,135百万円（同51.8%減）、経常利益5,830百万円（同47.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,696百万円（同34.3%減）となりました。

## (経営成績のポイント)

- ・アマノ単体は、「働き方改革」の追い風は継続しており、2020年5月の緊急事態宣言解除以降、業況は徐々に戻りつつあるものの、前年の水準まで回復しておらず減収。その中で、中国経済の回復等に伴い、環境システムの減収率が縮小。
- ・国内グループ会社では、外出自粛による車での移動の減少により駐車場管理受託事業が低調に推移したものの、就業管理のクラウドサービスは顧客からの引き合いが増え引続き伸長。
- ・海外は、北米のアマノマクギャン社が固定費削減を進め成果が得られたものの、米国の外出禁止令及びデモの影響により売上が大きく減少したため赤字幅が拡大。アジア、欧州も各地の外出禁止等の影響が続いており減収となったが、欧州では就業管理のクラウドサービスが堅調で減収率が縮小。
- ・なお、親会社株主に帰属する四半期純利益には、米国における連邦税の還付を含む。

事業部門別の経営成績は、以下のとおりであります。

## 事業部門別の状況

(単位：百万円)

区 分	2020年3月期 第3四半期連結累計期間		2021年3月期 第3四半期連結累計期間		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
(時間情報システム事業)		%		%		%
情報システム	21,344	22.3	19,077	23.7	△2,267	△10.6
時間管理機器	2,535	2.7	2,018	2.5	△517	△20.4
パーキングシステム	47,455	49.6	38,435	47.7	△9,019	△19.0
小 計	71,335	74.6	59,531	73.9	△11,803	△16.5
(環境関連システム事業)						
環境システム	16,319	17.1	13,233	16.4	△3,085	△18.9
クリーンシステム	7,935	8.3	7,759	9.7	△175	△2.2
小 計	24,254	25.4	20,993	26.1	△3,261	△13.4
合 計	95,590	100.0	80,525	100.0	△15,064	△15.8

## 時間情報システム事業

- ・情報システム = 「就業・給与・人事・入室・食堂システム」
- ・時間管理機器 = 「タイムレコーダー、タイムスタンプ」
- ・パーキングシステム = 「駐車場・駐輪場管理システム、駐車場運営受託」

当事業の売上高は、59,531百万円で、前年同期比11,803百万円の減収（16.5%減）となりました。事業部門別の状況は以下のとおりであります。

- ・情報システム 19,077百万円（前年同期比10.6%減）  
国内は、アマノ単体がソフトウェア、ハードウェアともに減少し減収。一方、アマノビジネスソリューションズ社が展開するクラウドサービスはテレワークによる利用者数の増加もあり、引続き堅調に伸ばいたしました。海外は、北米、欧州ともに減収となり、全体でも減収となりました。
- ・時間管理機器 2,018百万円（前年同期比20.4%減）  
国内は、標準機、パソコン集計ソフト付タイムレコーダーともに減少し減収、海外も減収となりました。
- ・パーキングシステム 38,435百万円（前年同期比19.0%減）  
国内は、アマノ単体が管理会社や駐車場経営者の設備投資意欲の減退による案件の落ち込みにより減収、駐車場運営受託事業を展開するアマノマネジメントサービス社はコロナ禍の外出自粛による駐車場稼働率低下の影響が残り減収となりました。海外は、北米、アジアともに減収となりました。

## 環境関連システム事業

- ・環境システム = 「汎用集塵機、大型集塵装置、粉粒体空気輸送システム、高温有害ガス除去システム、脱臭システム、高機能空気清浄機」
- ・クリーンシステム = 「清掃機器、ドライケア清掃システム、清掃マネジメントサービス、電解水生成装置」

当事業の売上高は、20,993百万円で、前年同期比3,261百万円の減収（13.4%減）となりました。事業部門別の状況は以下のとおりであります。

- ・環境システム 13,233百万円（前年同期比18.9%減）  
国内は、中国経済の回復に伴い大型システム案件が持ち直しつつあるものの、汎用機の低迷が継続し減収となりました。海外は、タイ・中国等アジアが減収となりました。
- ・クリーンシステム 7,759百万円（前年同期比2.2%減）  
国内は、アマノ単体が次亜塩素酸水を生成する電解水生成装置（※）への需要増加や、ロボット洗浄機のリピート受注が入りつつあるものの、清掃機器が全般的に低迷し減収となりました。海外は、北米が増収となりました。

※水に少量の食塩を加えて電気分解し、[次亜塩素酸水(酸性電解水)]と[アルカリ性電解水]の2種類を生成。  
次亜塩素酸水(酸性電解水)は除菌効果に優れ、アルカリ性電解水は脂質やタンパクなどの汚れを除去する洗浄効果を発揮。電解水生成装置の詳細は当社ホームページをご参照ください。

(<https://www.amano.co.jp/Clean/products/denkai.html>)

(参考情報)

## 【所在地別情報】

(単位：百万円)

	売上高				営業利益又は営業損失(△)			
	第3四半期累計期間		増減	増減率 (%)	第3四半期累計期間		増減	増減率 (%)
	2020年 3月期	2021年 3月期			2020年 3月期	2021年 3月期		
日本	63,173	52,658	△10,514	△16.6	11,983	7,849	△4,133	△34.5
アジア	14,257	11,872	△2,385	△16.7	1,515	233	△1,281	△84.6
北米	13,147	10,981	△2,165	△16.5	△480	△734	△254	—
欧州	6,380	5,861	△519	△8.1	553	478	△75	△13.6
計	96,959	81,374	△15,584	△16.1	13,571	7,827	△5,744	△42.3
消去 又は全社	△1,369	△849	—	—	△2,920	△2,691	—	—
連結	95,590	80,525	△15,064	△15.8	10,651	5,135	△5,515	△51.8

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、韓国、中国、フィリピン、ベトナム

(2) 北米……………アメリカ、カナダ、メキシコ

(3) 欧州……………フランス、ベルギー、スペイン

## 【海外売上高】

(単位：百万円)

	海外売上高				連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)		
	第3四半期累計期間		増減	増減率 (%)	第3四半期累計期間		増減
	2020年 3月期	2021年 3月期			2020年 3月期	2021年 3月期	
アジア	14,450	11,898	△2,552	△17.7	15.1	14.8	△0.3
北米	12,103	10,290	△1,813	△15.0	12.7	12.8	0.1
欧州	6,319	5,740	△579	△9.2	6.6	7.1	0.5
その他の 地域	821	606	△215	△26.2	0.8	0.7	△0.1
計	33,695	28,534	△5,160	△15.3	35.2	35.4	0.2
連結売上高	95,590	80,525					

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、韓国、中国、フィリピン、ベトナム

(2) 北米……………アメリカ、カナダ

(3) 欧州……………フランス、ベルギー、スペイン

(4) その他の地域……中南米

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

総資産は、146,556百万円(前連結会計年度末比7,720百万円減少)となりました。

- ・流動資産：受取手形及び売掛金の減少等により5,485百万円減少
- ・固定資産：長期預金の減少等により2,234百万円減少

負債は、38,618百万円(前連結会計年度末比6,179百万円減少)となりました。

- ・流動負債：電子記録債務や未払法人税等の減少等により6,926百万円減少
- ・固定負債：リース債務の増加等により746百万円増加

純資産は、107,938百万円(前連結会計年度末比1,540百万円減少)となりました。

- ・株主資本：配当金の支払等により1,225百万円減少
- ・その他の包括利益累計額：為替換算調整勘定の減少等により230百万円減少

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、49,569百万円と前連結会計年度末に比べ2,565百万円減少いたしました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、9,248百万円(前年同期比5,142百万円の収入の減少)となりました。

- ・主な収入：
  - 売上債権の減少額7,588百万円の計上、減価償却費6,321百万円の計上、税金等調整前四半期純利益5,758百万円の計上
- ・主な支出：
  - 法人税等の支払額5,743百万円の計上、仕入債務の減少額3,466百万円の計上

投資活動によるキャッシュ・フローは、△3,571百万円(前年同期比541百万円の支出の減少)となりました。

- ・主な収入：
  - 定期預金の払戻による収入3,951百万円の計上
- ・主な支出：
  - 定期預金の預入による支出3,619百万円の計上、有形固定資産の取得による支出1,593百万円の計上、無形固定資産の取得による支出1,310百万円の計上

財務活動によるキャッシュ・フローは、△7,888百万円(前年同期比1,082百万円の支出の増加)となりました。

- ・主な収入：
  - セール・アンド・リースバックによる収入1,076百万円の計上
- ・主な支出：
  - 配当金の支払額5,703百万円の計上、リース債務の返済による支出2,800百万円の計上

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減収減益となりましたが、アマノ単体では環境システムやクリーンシステムの落ち込みが当初想定よりも少なかったこと、および国内で就業管理のクラウドサービスを展開しているアマノビジネスソリューションズ社や欧州で就業管理システムを展開しているホロクオルツ社などのグループ会社が引続き堅調に推移したことから、期初に策定した会社計画を若干上回るペースで推移しております。しかしながら、期初計画では今下期に新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に軽減されていくシナリオとしておりましたが、下期に入ってから国内外で新型コロナウイルス感染症が再拡大しており、2021年1月には国内の複数の都府県で緊急事態宣言が再発令されるなど、当社の需要期である第4四半期の業況は依然として不透明感が強いものと認識しております。したがって、現時点では、2020年4月24日に公表いたしました2021年3月期通期業績予想に変更はございません。ただし、今後事業環境が変化し、業績に影響が生じるような場合には、適時に開示してまいります。



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	54,973	53,702
受取手形及び売掛金	31,392	23,601
有価証券	1,743	2,536
商品及び製品	4,282	4,381
仕掛品	622	981
原材料及び貯蔵品	4,796	4,791
その他	2,968	5,350
貸倒引当金	△321	△372
流動資産合計	100,458	94,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,118	9,677
機械装置及び運搬具（純額）	902	927
工具、器具及び備品（純額）	2,380	2,340
土地	5,922	5,899
リース資産（純額）	6,298	7,239
建設仮勘定	446	125
有形固定資産合計	26,069	26,210
無形固定資産		
のれん	1,918	1,667
ソフトウェア	4,752	3,984
ソフトウェア仮勘定	1,118	1,114
その他	3,150	2,826
無形固定資産合計	10,939	9,594
投資その他の資産		
投資有価証券	8,828	9,388
破産更生債権等	649	579
差入保証金	1,550	1,691
長期預金	1,500	-
退職給付に係る資産	96	99
繰延税金資産	3,086	2,821
その他	1,760	1,789
貸倒引当金	△662	△592
投資その他の資産合計	16,809	15,778
固定資産合計	53,818	51,583
資産合計	154,276	146,556

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,210	4,742
電子記録債務	6,845	4,775
短期借入金	678	495
リース債務	2,641	3,012
未払法人税等	3,711	770
賞与引当金	2,842	1,004
役員賞与引当金	130	-
その他	13,604	14,936
流動負債合計	36,664	29,737
固定負債		
長期末払金	0	-
リース債務	4,495	5,227
繰延税金負債	136	114
退職給付に係る負債	2,736	2,708
株式給付引当金	198	245
役員株式給付引当金	162	186
資産除去債務	32	33
その他	371	364
固定負債合計	8,134	8,880
負債合計	44,798	38,618
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,239	18,239
資本剰余金	19,293	19,293
利益剰余金	80,204	79,197
自己株式	△4,224	△4,443
株主資本合計	113,512	112,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,025	1,380
為替換算調整勘定	△4,781	△5,518
退職給付に係る調整累計額	△1,061	△909
その他の包括利益累計額合計	△4,817	△5,047
非支配株主持分	783	698
純資産合計	109,478	107,938
負債純資産合計	154,276	146,556

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	95,590	80,525
売上原価	52,977	45,831
売上総利益	42,612	34,693
販売費及び一般管理費		
販売費	28,825	26,649
一般管理費	3,134	2,907
販売費及び一般管理費合計	31,960	29,557
営業利益	10,651	5,135
営業外収益		
受取利息	130	139
受取配当金	150	158
受取保険金	71	101
持分法による投資利益	134	137
その他	241	358
営業外収益合計	728	895
営業外費用		
支払利息	68	113
為替差損	75	46
外国源泉税	3	0
その他	58	39
営業外費用合計	205	200
経常利益	11,175	5,830
特別利益		
固定資産売却益	5	9
投資有価証券清算益	-	3
特別利益合計	5	13
特別損失		
固定資産除却損	25	26
固定資産売却損	0	-
減損損失	-	35
事務所移転費用	-	23
投資有価証券評価損	111	-
特別退職金	36	-
特別損失合計	173	85
税金等調整前四半期純利益	11,007	5,758
法人税等	3,710	1,018
四半期純利益	7,296	4,739
非支配株主に帰属する四半期純利益	146	43
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,150	4,696

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	7,296	4,739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	248	355
為替換算調整勘定	△1,461	△801
退職給付に係る調整額	108	151
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△1,105	△293
四半期包括利益	6,191	4,446
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,021	4,466
非支配株主に係る四半期包括利益	169	△20

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,007	5,758
減価償却費	5,184	6,321
のれん償却額	404	267
減損損失	-	35
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	157	203
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	103	65
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	78	31
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	58	△5
受取利息及び受取配当金	△281	△298
持分法による投資損益 (△は益)	△134	△137
支払利息	68	113
為替差損益 (△は益)	25	△23
固定資産売却損益 (△は益)	△5	△9
固定資産除却損	25	26
投資有価証券評価損益 (△は益)	111	-
投資有価証券清算損益 (△は益)	-	△3
特別退職金	36	-
売上債権の増減額 (△は増加)	6,903	7,588
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,651	△633
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,238	△3,466
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,203	1,561
その他	△2,172	△3,499
小計	18,886	13,895
利息及び配当金の受取額	365	403
利息の支払額	△72	△118
特別退職金の支払額	△21	△11
法人税等の支払額	△5,005	△5,743
法人税等の還付額	238	822
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,390	9,248
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△1,000	△1,850
有価証券の償還による収入	1,000	1,000
有形固定資産の取得による支出	△2,228	△1,593
有形固定資産の売却による収入	7	10
無形固定資産の取得による支出	△1,366	△1,310
投資有価証券の取得による支出	△54	△4
投資有価証券の清算による収入	-	3
定期預金の預入による支出	△3,067	△3,619
定期預金の払戻による収入	2,728	3,951
その他	△131	△159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,112	△3,571

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	716	489
短期借入金の返済による支出	△491	△641
自己株式の取得による支出	△3	△245
リース債務の返済による支出	△1,771	△2,800
セール・アンド・リースバックによる収入	1,030	1,076
配当金の支払額	△6,228	△5,703
非支配株主への配当金の支払額	△58	△63
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,806	△7,888
現金及び現金同等物に係る換算差額	△500	△353
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,970	△2,565
現金及び現金同等物の期首残高	42,487	52,134
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,458	49,569

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純損益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(役員報酬B I P信託及び従業員向け株式給付信託について)

当社及び一部子会社では、中長期的な業績向上と企業価値の増大への貢献意欲を高めることを目的として、取締役(社外取締役、国外居住者を除く。)及び執行役員(国外居住者を除く。)を対象に役員報酬B I P信託を、また、一定の要件を満たした従業員を対象に従業員向け株式給付信託の制度を導入しております。

## ①取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として信託を設定し、信託を通じて当社株式の取得を行い、対象者に給付する仕組みであります。なお、役員報酬B I P信託については、2020年4月から開始した第8次中期経営計画期間に連動した株式報酬制度として当初の信託期間と同一期間だけ信託期間を延長し、本信託を継続しております。

役員報酬B I P信託については、取締役及び執行役員に対し、株式交付規程に従って、その役位及び経営指標に関する数値目標の達成度に応じて付与されるポイントに基づき、信託を通じて当社株式を交付する仕組みであります。

従業員向け株式給付信託については、一定の要件を満たした従業員に対し、株式給付規程に従って、その役職及び業績等に応じて付与されるポイントに基づき、信託を通じて当社株式を給付する仕組みであります。

## ②信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。

自己株式の帳簿価額及び株式数

当第3四半期連結会計期間末	1,045百万円、421,314株
---------------	-------------------

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対する対応状況と会計上の見積りについて)

従業員等の健康・安全確保のために実施している取り組みとしては、アマノ単体や国内グループ会社において、在宅勤務や時差出勤等を実施しております。

海外グループ会社では所在国・州等の外出禁止令などの指示に従った対応を採っており、外出禁止令が発令された地域に所在する場合には在宅勤務対応を原則として実施しております。

事業所の稼働状況については、国内工場では通常通り操業しております。また、米国工場では所在各州の指示に従っており、現時点では通常生産あるいは最小人員での生産を継続しております。

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の影響による仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	時間情報 システム事業	環境関連 システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	71,335	24,254	95,590	—	95,590
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	71,335	24,254	95,590	—	95,590
セグメント利益	10,258	3,405	13,663	△3,012	10,651

(注) 1 セグメント利益の調整額△3,012百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	時間情報 システム事業	環境関連 システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	59,531	20,993	80,525	—	80,525
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	59,531	20,993	80,525	—	80,525
セグメント利益	5,230	2,668	7,899	△2,763	5,135

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,763百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。